

【支部総会報告】

2023 年度学友会兵庫支部 学術講演・支部総会報告

通信員 吉田隆人(大6回生)

2024年2月3日(土)ホテルサンルートソプラ神戸にて、2023年度近畿地区合同学友会兵庫支部総会が開催されました。今年度は初のハイブリッド開催(現地+Zoom)となりました。先に学術講演としてメーカー情報提供2社・会員講演3演題および支部総会がハイブリッド開催にて行われ、その後2019年度以来4年振りとなる懇親会も行われました。

学術講演は、座長の奥 好仁氏(短14回生)と西田高大氏(短13回生)の進行にて行われました。まず、メーカー情報提供を講演していただきました。日本メジフィジクス株式会社の大久弘嗣氏からは「ビザミル®静注によるアミロイドPETについて」と題してご講演いただきました。脳内のアミロイドβタンパクの沈着を画像化することができるPET製剤であり、アルツハイマー型認知症の診断に有用であるとのことご発表。2023年12月に保険適用されたばかりの製剤ということもあり、活発な質疑応答が行われました。島津製作所の伊東龍一氏からは「島津新型血管造影撮影装置 Trinius Opera のご紹介」と題して、血管撮影装置およびソフトウェアの紹介と実臨床における活用方法などについてご講演いただきました。次に会員講演として、村主瀬成氏(大9回生)から「健診と検診」と題して講演が行われました。勤務先の京都工場保健会神戸健診クリニックでの経験や症例報告も交えた非常に興味深い内容でした。次に吉田隆人(大6回生)からは「『国際化する日本で我々にできること』を考える」と題して、来院する方の言語的文化的な背景が多様化してゆくなかで、我々にできる対応を考えるきっかけをつくる講演を行いました。最後は小森将樹氏(大6回生)から「当院におけるMR Bone imaging について」と題し、基礎的な内容から深い解説まで様々な内容が盛り込まれ、非常に勉強になる講演でした。学術講演の後には支部総会が行われ、兵庫支部会員のみならず他支部の支部長や大学関係者にもご参加いただきました。総会では錦学友会会長(54回生)、玉木学長の挨拶に続き、事務局次長の柴田雅之氏より近況をご報告いただきました。

懇親会は神澤支部長と錦会長のご挨拶から始まりました。遠山先生からの新入会員紹介の後、黒田副会長に乾杯の音頭を取っていただきました。ご出席いただいた近畿地区の各支部長と協賛メーカーからのご挨拶も頂戴し、最後には神澤良明名誉会員による締めのご挨拶にてお開きとなりました。

最後になりますが、ご参加いただいた皆様ありがとうございました。今回も全国から幅広い年齢層のご参加、活発な質疑応答も行われたことを非常に嬉しく思っております。来年以降も皆様のご参加楽しみにお待ちしております。



以上